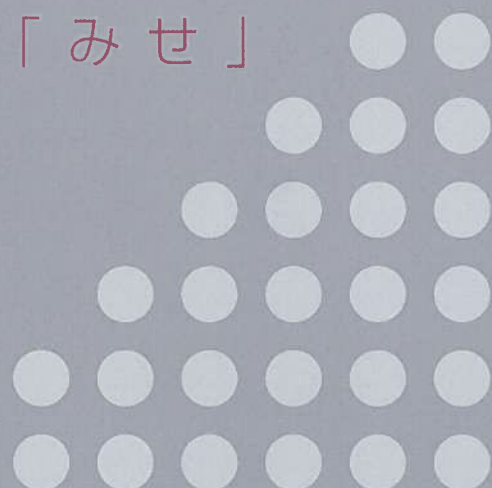


第2回 社団法人商業施設技術者・団体連合会コンペ

主張する「みせ」

デザイン

コンテスト



[入賞作品集]

J·TOCS
Japanese Technical Organization for Commercial Spaces

社団法人 商業施設技術者・団体連合会

若者が街を歩き、時代の空気を動かす

時は流れ、時代も大きく変貌した。人が創り上げる街並みも大きくその姿を変えてきた。車社会が進展し、郊外にバイパスや高速道路などが整備され新しい道路が開通すると、ロードサイドにはさまざまなタイプの大型店が続々と出店する。一方、商店街のある都市中心部や駅周辺ではモータリゼーションに対応できず、そのために交通が渋滞し、また駐車場不足のため、空洞化現象が起こっているケースも少なくない。現在、街を活性化する上でも「街づくり・店づくり」の視点が不可欠になってきた。つまり商業施設を中心とした街づくりが注目を集めているのだ。日本の経済社会は1960年代の高度成長、70年代後半から80年代の安定成長・成熟期を経て現在に至っている。いずれも工業を中心とした社会だが、80年代になると、経済や消費のソフト化・サービス化の進展によって大きく転換し、商業施設を中心とした街づくりが重要視されるようになった。これは言うまでもなく、第三次産業の分野が伸びてきたからであり、商業施設が重要な役割を果たしてきたからに他ならない。情報化社会が到来したといわれて久しいが、多くの人がさまざまな情報を瞬時に入手することが可能になった。こうした社会ではコミュニケーションの手段が重要である。今や光ファイバーの開発によってデジタル通信網の情報ネットワークが構築され、革命的な進歩をとげた。企業はビジネスユースとして、個人はパーソナルユースとしてネットワークにアクセスし情報を活用している。コンピュータが生活の中に深く浸透したことによって、人の心と顔が見えなくなったいま、あらためて「みせ」を問いただしてみたいと考え、主張する「みせ」デザインコンテストを開催することになった。2回目となる今回は、生活者の価値意識、消費社会の変化、産業社会の方向性をトータルに捉えた作品が数多く出品された。あえて困難なテーマに取り組み、問題解決のため方法を導き出している作品に、多くの人が可能性を感じるであろう。従来のももの見方や基準を超えた新しい枠組みの中で商業施設を捉え直す必要を感じる人もいるだろう。若者たちの感性や学生という視点からの大きな夢と主張を私たちは大切にしたいと思う。

社団法人 商業施設技術者・団体連合会

会長 豊口 協

第2回 社団法人商業施設技術者・団体連合会コンペ

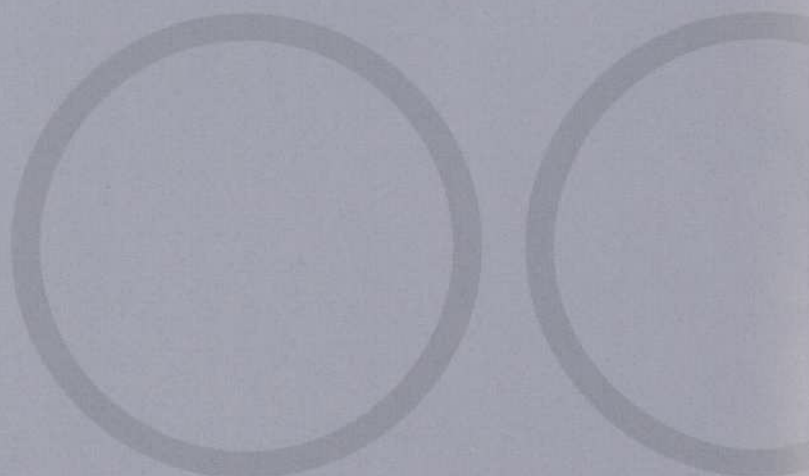
主張する「みせ」

デザイン

コンテスト



入賞・入選者一覧(敬称略)



◎最優秀賞



山本 聡 多摩美術大学美術学部環境デザイン学科

◎優秀賞



市村亜衣梨 トライデントデザイン専門学校インテリアCAD学科



北野雅也(共同制作: 近田華子) 千葉大学大学院自然科学研究科デザイン専攻



富永直寛 創造社デザイン専門学校生活デザイン学科インテリア専攻



西田直海 千葉大学工学部都市環境システム学科



藤原洋佑 千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻

◎入選

社団法人北海道商業施設技術協会賞



井上絵里可 修成建設専門学校建築CGデザイン学科

東陶機器株式会社賞



山上 弘 トライデントデザイン専門学校建築インテリア学科

日経アーバンビルド株式会社賞



足達路子 千葉大学大学院自然科学研究科都市環境システム専攻

スガソネ工業株式会社賞



藤井祐司 トライデントデザイン専門学校建築インテリア学科

トステム株式会社賞



栗橋健太 千葉大学大学院自然科学研究科都市環境システム専攻

松下電工株式会社賞



浅野正裕(共同制作: 川口洋介) 千葉大学大学院自然科学研究科都市環境システム専攻

株式会社資生堂賞



佐野太郎(共同制作: 西之原琢也) 千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻

トースンケイカク株式会社賞



井村晋作 長岡造形大学造形学部環境デザイン学科

株式会社アーク・アイ・コーポレーション賞



渡邊祥子 千葉大学工学部都市環境システム学科



大澤 愛 千葉大学工学部都市環境システム学科



桑野文悟 千葉大学大学院自然科学研究科都市環境システム専攻



品川英美 千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻



滝田真弓 宮城大学事業構想学部デザイン情報学科



竹中沙織 創造社デザイン専門学校生活デザイン学科



豊田研人 千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻



内藤友輔 福岡デザイン専門学校環境デザイン科



林田大輝 千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻



樋口 巧 長岡造形大学造形学部環境デザイン学科



福田 藍 千葉大学大学院自然科学研究科都市環境システム専攻



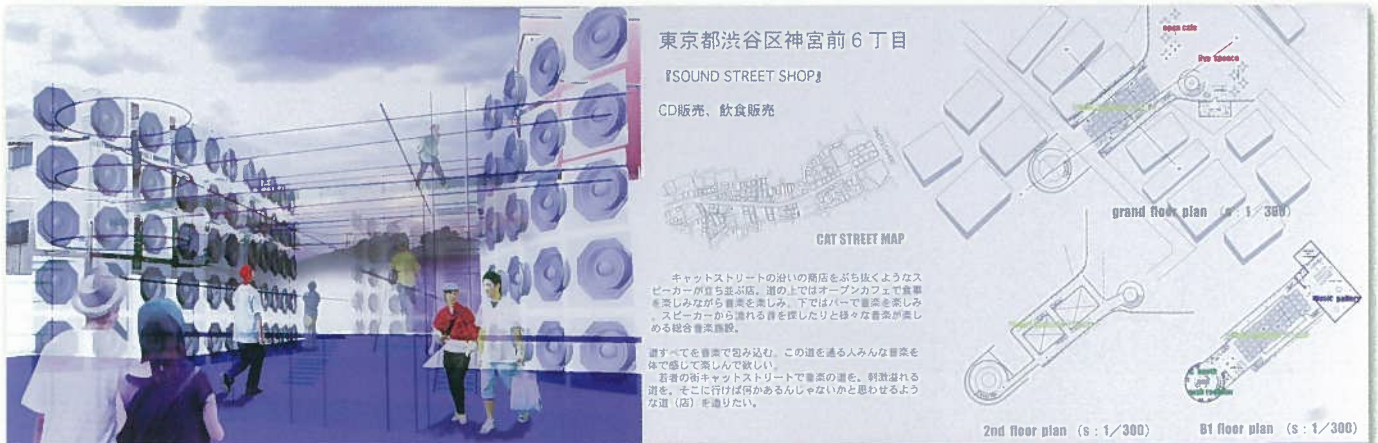
水谷真奈 名古屋デザイナー学院インテリアデザイン科

最優秀賞

山本 聡

多摩美術大学美術学部環境デザイン学科

作品名 街に音楽と活気を与える店



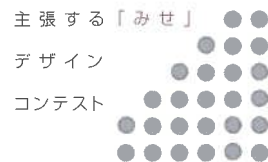
Sound Street Shop 街に活気を与える、音楽の道



渋谷区6丁目通称「キャッツストリート」と呼ばれる道を、新たに若者が集まる流行の発信源として音楽の道につくり出す。店にはオープンカフェでライブを楽しむことができたり、店のなかでDJのプレイを楽しむことができる。両サイドのスピーカーに近づくスピーカーごとにさまざまな音楽が楽しめる。この道を通るすべての人に音楽を聴覚、視覚、触覚で感じてもらいたい。店に来た人、店で働いている人、たまたま店を通りかかった人など、さまざまな人に日本の音楽シーンを活気づけてもらいたい。この店(道)が音楽の集まる場所になるだろう。

CONCEPT

優秀賞



市村亜衣梨

トライデントデザイン専門学校インテリアCAD学科

作品名 KALEIDOSCOP ~万華鏡~



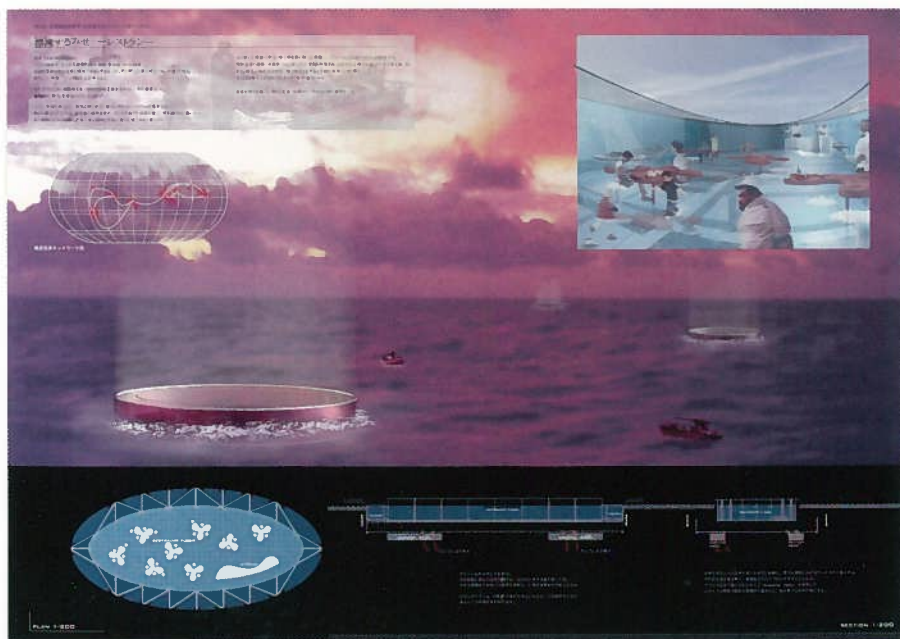
CONCEPT

万華鏡は何枚もの鏡に物体が反射してひとつの模様になる。のぞき込むと綺麗な世界が広がり、見ていると心が落ち着いた気持ちになる。二度と同じ模様を見せることはなく、毎回違う模様を見せて楽しませてくれる。そんな空間のカフェを提案します。個室は壁を丸することで、万華鏡の中にある気持ちにしてくれます。一部の壁をガラスにすることでライトの光が個室に広がります。4つの部屋の真中にライトを置き、そこからそれぞれの個室に光が広がります。ガラスは透けないので他の個室からは見えません。しかし、それぞれ部屋の壁の色が違うので、光が壁に反射しているいろいろな光がガラスから漏れてきて綺麗な空間にしてくれます。

北野雅也(共同制作: 近田華子)

千葉大学大学院自然科学研究科デザイン専攻

作品名 漂流するみせ レストラン



CONCEPT

国家とはいかなるものか。一つの階級が、自らの支配の為の「秩序」を形成、さらに防衛し、政治的支配を広げる為の機構であるとするならば、その間には常に対立と争いが起こりうる。即ち戦争と呼ばれる悲劇である。その社会が、植民地支配・政治的全体主義を生み出し、負の遺産として、爆発的な難民を増加させることになった。ここに、敷地を海上とし、難民に開かれた「海上に浮かぶレストラン」を提案する。国から逃亡した人々は、祖国を案じながら自分達の場所を求めて恐怖と不安に満ちた旅を続けるに違いない。厳しい環境の中で、唯一手を差し伸べる存在のレストラン。強制送還の恐怖や不安から解き放たれ、ゆるやかな海の断面に包まれて食を愉しむ。また、海上に浮び上がる一塊の光は、ともすると平和の象徴ともなり得る。そこには現代人が忘れてしまった「食」の重さがある。食事を終えた彼らが向かう先は、祖国か、それとも別の場所なのか。

優秀賞

富永直寛

創造社デザイン専門学校
生活デザイン学科
インテリア専攻

作品名
UNDER THE SKY



Concept

都市に高層ビルや住宅が増え続け、その風景が目まぐるしく変化している。そこで見直して欲しいのは電力の無駄使い。夜になると、街や家庭の電気が灯りはじめ光の世界に変わる。しかし、その姿は本来の姿ではない。地球温暖化にも大きく関係し地球が悲鳴を上げている。思い出してほしいのは本来の星空。星たちが美しく光り、幻想的な世界へ連れて行ってくれた。しかし現在では、そのシーンを見ることはない。そこでもう一度地球環境のことを考えてもらうためにUNDER THE SKYを提案します。映像で本来の美しい空を店舗全体に映し、電気の無駄遣いをしなければ、幻想的な星空が見られることを理解してもらい体全体で楽しんでもらう。さらに映像装置を活用し、商店街のアーケードに星空や近所の幼稚園や小学校の絵を映像として流す。地域の人や家族連れが楽しめるコミュニケーションにもなり、もう一度商店街に若い家族連れが戻って来て商店街が生まれ変わる。

西田直海

千葉大学工学部
都市環境システム学科

作品名
Book for Cook



Concept

食は、生きるということに直接繋がりが欠かすことのできない文化である。本は、その文化や伝統をも伝え、人々の暮らしをより豊かなものにする。本とレストランとクッキングスタジオという3者を結びつけることで、複雑な商いや活動が誘発され、ひとつの空間がより豊かなものになっていく。昔、アメリカの料理番組で、グラハム・カー氏がおしゃべりをしながら料理を作り、聴衆は頷いたり、感心したり、生唾を飲み込んだりしながら、ショーを楽しんでいた。何よりも印象に残るのは、お客さんが試食するときのあのうれしそうな顔だ。テレビを観ていた私は、あの舌鼓の場面をどれほどうらやましく思ったことか。せめて匂いだけでも流れてほしいかと思っただけだ。それが全部この空間では実現する。見ることもできるし、触ることもできる。匂いも、音もある。新しいレシピ、料理の技、話らいと賑わいを楽しむための、そんな場所を「Book for Cook」は提供する。

藤原洋佑

千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻

作品名 NO FITTING ROOM EXISTS HERE



Concept

試着室のないブティックを提案します。街を歩いて、たまたまい服を見つけたとしても、他の用事があって時間がなかったり、いまいち決断できことがあります。もしそんなとき、服を着ることなく、ヴァーチャリアリティーでの試着シミュレーションができれば、より手軽に服を買うかどうか判断できるのではないのでしょうか。そして服を買うという行為がより手軽に行なえるようになるのではないのでしょうか。

System

1. 利用者はあらかじめ自分の体格の3Dデータを測定し、メモリーカードのような携帯記録装置に記録して持ち歩き、常に取り出せるようにする。
2. 店に置く服の一つ一つには、それぞれの形状のデータが登録してあり、利用者は仮想試着したい服のタグをセンサーで読み込む。
3. 服の形状データと体格データを店内のコンピュータに転送し、体格との適合度を判定したり、大型ディスプレイに像を映す。
4. ディスプレイ上では、服の細かい形状や色、背景を変えることで、いろいろな場所を想定してシミュレーションを行なえる。

審査風景



入 選

●社団法人北海道商業施設技術協会賞



井上絵里可
 修成建設専門学校
 建築CGデザイン学科
 作品名
 商店街の活性化計画
 森にかえる

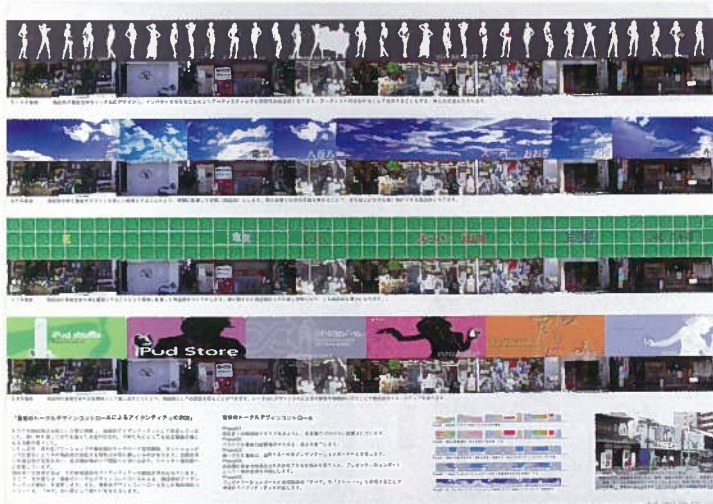
●東陶機器株式会社賞



山上 弘
 トライデントデザイン専門学校
 建築インテリア学科
 作品名
 Ka o Ru BOX

●日経アーバンビルド株式会社賞

足達路子
 千葉大学大学院
 自然科学研究科
 都市環境システム専攻
 作品名
 看板のトータルデザイン
 コントロールによる
 アイデンティティの創出



入選

●株式会社資生堂賞



佐野太一郎
(共同制作: 西之原琢也)

千葉大学大学院
自然科学研究科
建築専攻

作品名
KaruSa Paradiso

●トースンケイカク株式会社賞



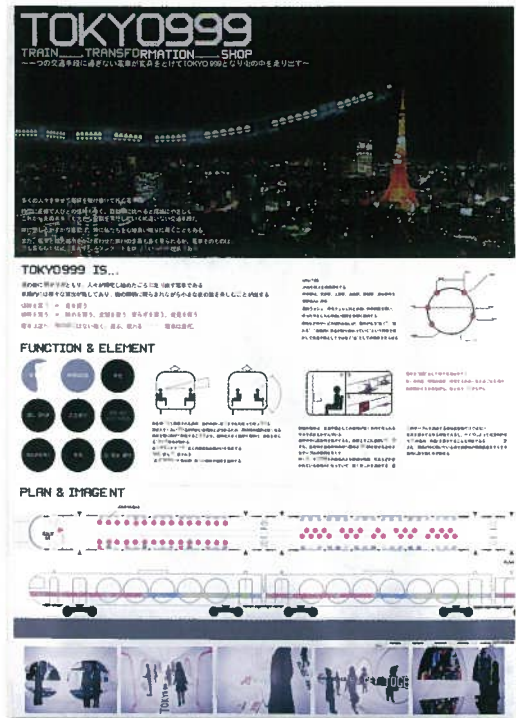
渡邊祥子
千葉大学工学部
都市環境システム学科
作品名
店は現場だ! 工場だ!!

井村晋作
長岡造形大学
造形学部
環境デザイン学科
作品名
Fabook.

●株式会社アーク・アイ・コーポレーション賞

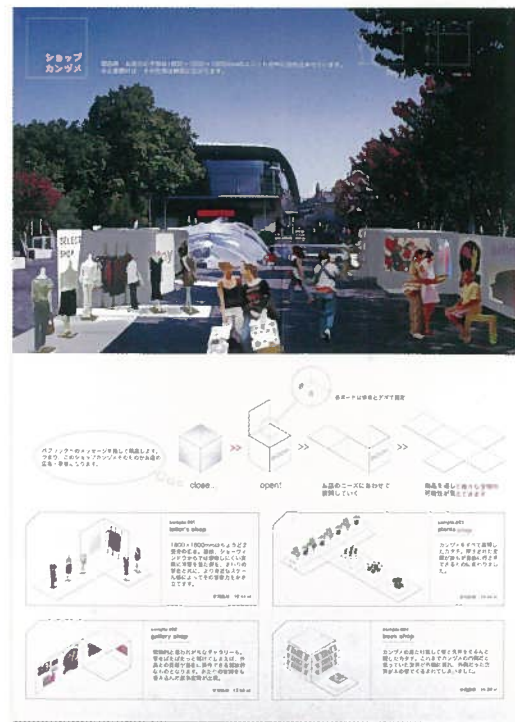


大澤 愛
千葉大学工学部
都市環境システム学科
作品名
TOKYO999

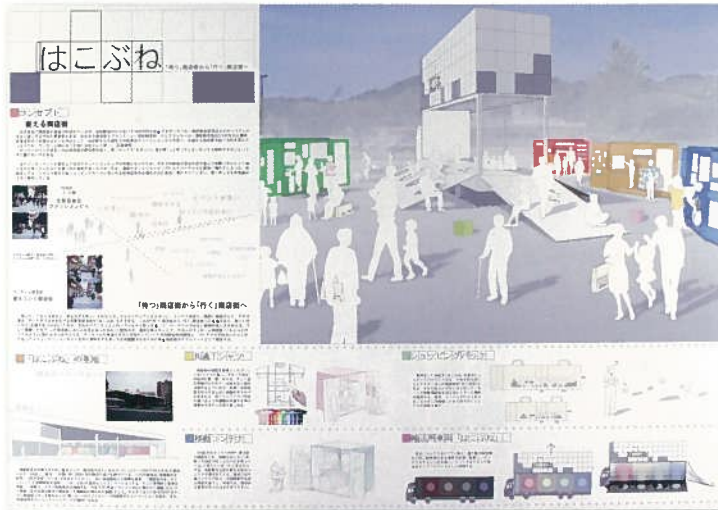


桑野文悟
千葉大学大学院
自然科学研究科
都市環境システム専攻
作品名
人が店(魅せ)になるシステム

品川英美
千葉大学大学院
自然科学研究科
建築専攻
作品名
宇宙の缶詰



入 選



滝田真弓

宮城大学
事業構想学部
デザイン情報学科

作品名
移動型商店街「はこぶね」



竹中沙織

創造社デザイン専門学校
生活デザイン学科

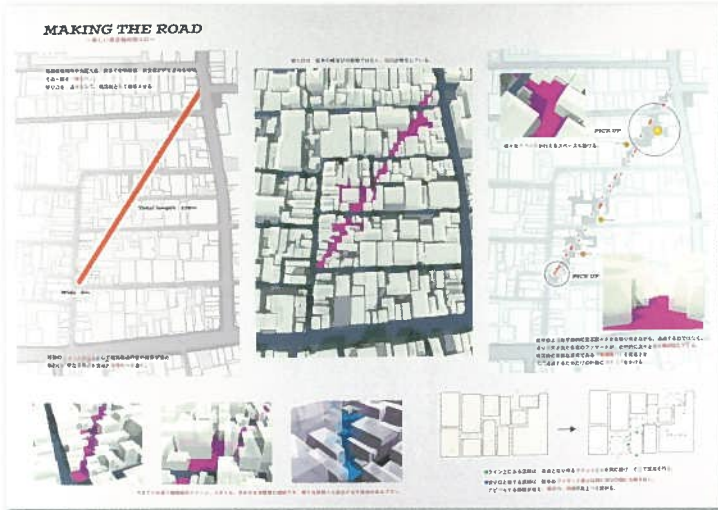
作品名
Trick Art Museum
～刺激という名の理想郷～



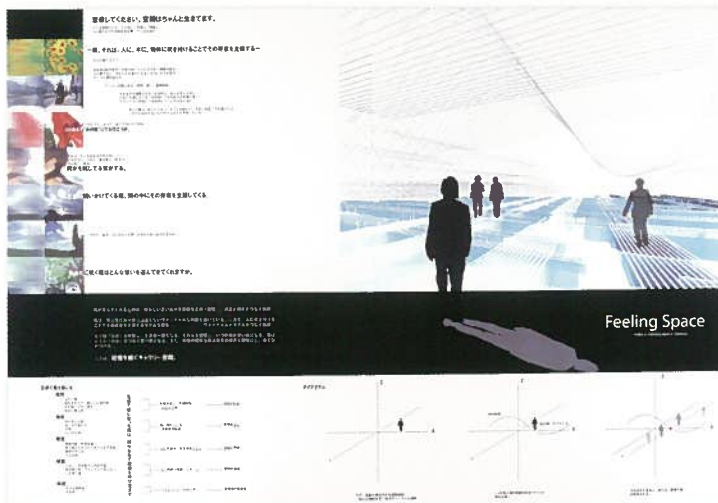
豊田研人

千葉大学大学院
自然科学研究科
建築専攻

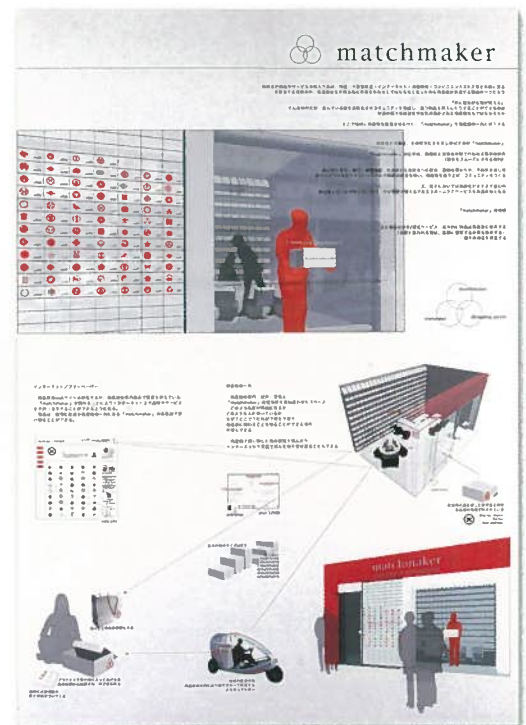
作品名
まちの生活倉庫 ソトレージドオリ



内藤友輔
 福岡デザイン専門学校
 環境デザイン科
 作品名
 MAKING THE ROAD
 ～新しい商店街の切り口～



樋口 巧
 長岡造形大学
 造形学部
 環境デザイン学科
 作品名
 記憶を紡ぐギャラリー空間



林田大輝
 千葉大学大学院
 自然科学研究科
 建築専攻
 作品名
 matchmaker

入 選

福田 藍

千葉大学大学院
自然科学研究科
都市環境システム専攻

作品名
店よ!【飛び出せ!】



水谷真奈

名古屋デザイナー学院
インテリアデザイン科

作品名
壁の向こう側の香りの世界



授賞式風景



第3回
商業施設技術者・団体連合会コンペ
主張する「みせ」デザインコンテスト

応募要領

●賞

最優秀賞	1点	20万円+賞状
優秀賞	5点	5万円+賞状
入選	20点	記念品+賞状

●審査委員

豊口 協 (長岡造形大学 理事長)
柘植 喜治 (千葉大学工学部 助教授)
小坂 竜 (乃村工藝社 デザインディレクター)
野村 武彦 (商施連 会長)

●応募資格

学生 (大学院生、大学生、短大生、専門学校生)
個人・共同制作、いずれも可

●応募作品の形式

あなたが思う、「主張する「みせ」」を自由に表現して、
「A1サイズスチレンボード」に、
主旨 (コンセプト) を添えて応募してください。

・A1サイズスチレンボード・・・(594×840mm)1枚にまとめる
<平面図、パース (CG) など自由にレイアウトして下さい。>

・主旨 (コンセプト)・・・400字程度の主旨を
A4サイズ用紙にまとめ、添付

●作品応募期間

平成17年12月1日 (木) 受付開始
平成18年1月20日 (金) 必着締め切り

●審査結果通知

平成18年2月15日頃予定
応募者 (代表者) 宛に文書にて受賞者のみ通知

●受賞者の表彰式

平成18年3月8日予定

●受賞作品の展示

平成18年3月7日～10日 (予定)
JAPAN SHOP (店舗総合見本市) / 東京ビッグサイト

●主催・申込み・問い合わせ先

社団法人商業施設技術者・団体連合会コンペ事務局
〒108-0014 東京都港区芝5丁目26番20号 建築会館
TEL:03-3453-8103 FAX:03-3453-8109
E-mail:ssr@jtocs.or.jp

主張する「みせ」

デザイン

コンテスト



主催 社団法人 商業施設技術者・団体連合会
後援 日本経済新聞社
全国商環境設計装備協同組合
協同組合日本店装チェーン
社団法人日本ディスプレイ業団体連合会
日本マネキンディスプレイ商工組合
社団法人日本商環境設計家協会
社団法人日本ディスプレイデザイン協会
日本インテリア設計家協会
社団法人北海道商業施設技術協会

協賛 東陶機器株式会社
スガツネ工業株式会社
日軽アーバンビルド株式会社
株式会社総合プランニングセンター
株式会社ニップコーポレーション
株式会社拓装
株式会社純光社
トステム株式会社
松下電工株式会社
株式会社資生堂
トースンケイカク株式会社
株式会社アーク・アイ・コーポレーション

サポート協賛 永井 朔 副会長
観音寺 成 専務理事
松本 弘志 常務理事
岩下 修造 理事
梅村 和正 理事
斎藤 武行 監事

社団法人 商業施設技術者・団体連合会

〒108-0014 東京都港区芝5丁目26番20号 建築会館
TEL:03-3453-8103 FAX:03-3453-8109
E-mail:ssr@jtocs.or.jp

編集制作/インフィニティ・ワークス
Photographer/冨永 晋